

日本における難民認定の壁

—身近に潜む国際問題—

日時：2019年11月2日(土)・9日(土) 13:00～16:00

場所：西南学院大学図書館 1F多目的ホール

第1部 講演会 13:00～14:00

11月2日 竹内 正宣 行政書士

九州の外国人に寄り添うボランティア活動に献身されています。

11月9日 柚之原 寛史 牧師 (長崎インターナショナル教会)

難民・外国人支援に取り組み、大村入管では礼拝も持たれています。

※ 講演会のみ参加も可能です。

第2部 体験シミュレーション 14:00～16:00

主催ゼミの学生である私たちは、大村入国管理センターに足を運び、そこに収容されている人々に寄り添いながら、苦しみを訴える声を聞いてきました。そして、現場で味わった雰囲気や彼らの切実な声を取り入れ、私たちで入国管理体験シミュレーションを作成しました。参加者のみなさんには、入国管理センターに訪れる面会ボランティア役を演じて、私たちが演じる被収容者役との対話を重ねてもらいます。この体験を通じて、将来の日本を背負うみなさんの心のなかに、「九州で国際の狭間に置かれる人々に寄り添う」気持ちが豊かに育つことを願っています。

※ 体験シミュレーションは両日同じ内容です。

主催：西南学院大学 法学部根岸ゼミ

2019年度教育支援プログラム

人の痛みを知る法教育

—九州で国際の狭間に置かれる人々に寄り添う—

この境界線の意味…
あなたにはわかりますか？



予約方法

このQRコードを読み取って
Googleフォームから必要事項を
記入してください。